

◎スモモヒメシンクイ越冬世代の発生始まる（5月6日調査）

～引き続きスモモヒメシンクイの重点防除期間です。防除間隔 10 日を目安に散布を徹底して下さい～

地域・品種により凍霜害の影響が見られております。結実状況を把握し、良好な品種から順次摘果作業を進めて下さい。尚、ふくろみ病被害果実は、園外に除去して下さい。

1. プラム（2回分の防除を掲載）

【第7回 定期防除】 対象病害虫：シンクイムシ類、ウメシロカイガラムシ、黒斑病（かいよう病）

散布時期	・ 5月25日～6月4日 （第6回定期散布から10日後）		
散布薬剤	水	100ℓ 当り	散布日 ____月 ____日
	展着剤	10mℓ	
	アーデントフロアブル	50mℓ （前日、3回）	散布量 _____ℓ
	劇ダズバン DF	33g （14日前、2回）	
	マイコシールド	50g （21日前、3回）	
散布量	10aあたり 500ℓ		
注意事項	①大石早生は、マイコシールドを除いてよい。（収穫前使用規制に注意） ②シンクイムシ類の卵が散見される場合は、劇 スプラサイド水和剤 1500倍（14日前、2回）を特別散布する		

【第8回 定期防除】 対象病害虫：シンクイムシ類、ケムシ類、灰星病

散布時期	・ 6月5日～6月14日 （第7回定期散布から10日後）		
散布薬剤	水	100ℓ 当り	散布日 ____6月 ____日
	展着剤	10mℓ	
	ベルコートフロアブル	50mℓ （3日前、3回）	散布量 _____ℓ
	エクシレル SE	40mℓ （前日、3回）	
散布量	10aあたり 500ℓ		
注意事項	【黒斑病（かいよう病）対策】 バリダシン液剤5の500倍（14日前、4回）またはスターナ水和剤の1000倍（7日前、3回）を加用する。		

劇・・・劇物をご購入の際は、印鑑をお持ちください

次ページもご覧ください

2. プルーン

【第4回 定期防除】 対象病害虫：シンクイムシ類、アブラムシ類、(ハマキムシ類)、灰星病

散布時期	・ 5月29日～6月4日 (第3回定期散布から14日後)	
散布薬剤	水	100ℓ当り
	展着剤	10mℓ
	劇モスピラン顆粒水溶剤	50g (前日、3回)
	バルコートフロアブル	50mℓ (3日前、3回)
散布日	_____ 5月 _____ 日	
散布量	_____ ℓ	
散布量	10aあたり 500ℓ	
注意事項	摘果果実は、腐敗病の伝染源になりやすいので、土中深く埋めるか、園外へ除去する。	

●着果管理について

園地、品種によって凍霜害の影響が確認されております。結実が悪い場合は、「1果そうに2果結実させる」、「摘果を行わない」など、可能な限り着果を確保して下さい。

予備摘果 (基礎資料)

時 期	摘果の程度	備 考
満開～30日頃 (果実の細胞数の増加期)	大石早生、静香……最終着果量の2～3割増 太陽、貴陽 …… // 3～4割増	生理落果 少 // やや多

方 法	残す果実	落とす果実
	①品質本来の形、正常果 ②果実が大きく縦長なもの ③果梗が太く、緑色の濃いもの ④着果位置が横向きか下向きのもの	①変形果、傷果、病虫害果 ②着果位置が上向きなもの (日焼け、傷果が発生する)

仕上げ摘果 (基礎資料)

(果実1個に対し15～20枚の葉数) 満開後50～60日頃に下記を目安に摘果を行う。

◎プラム (中～長果枝) *短果枝群は中玉 (3～4芽に1果) ・大玉 (5～6芽に1果)

種 類	目標果重	摘 果 基 準	品 種
中玉果	60～70g	8～10cmに1果	大石早生、菅野中生
大玉果	80～120g 150g～	10～15cmに1果 15cm～	紅りょうぜん、ソルダム、サマーエンジェル、太陽 貴陽、秋姫 受粉樹も摘果を実施する。

◎プルーン

種 類	目標果重	摘 果 基 準	品 種
小玉果	30～40g	5cmに2果	サンタス、サンプルーン、シュガー
中玉果	50～60g	10cmに3果	くらしま早生、くらしまプルーン、スタンレイ
大玉果	70～100g	10cmに1～2果	パープルアイ、グランドプライズ、プレジデント

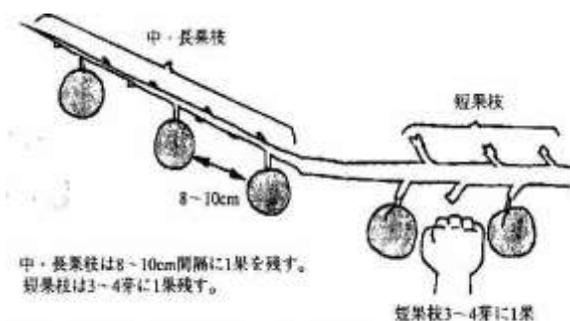


図1 中玉品種 (大石早生など) の仕上げ摘果の目安

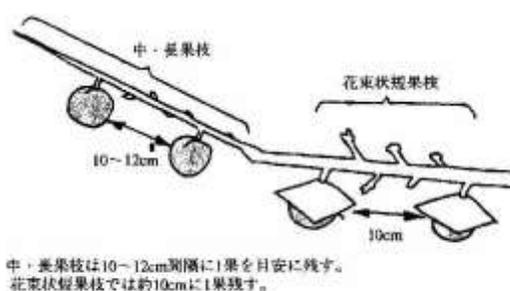


図2 大玉品種 (サンタローザ・ソルダム・太陽など) の仕上げ摘果の目安